

第 2 回委員会 委員アンケートの整理

本日举行しました「現地調査」について、ご意見・ご感想をいただきたいと思ひます。

項目	主なご意見
防災コミセンからの眺望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路沿いにコンビニや事務所が混在し、背景に三上山が望める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 360 度に展開する山容と野洲平野、コミセンを出ればすぐ横にお年寄りから若者、幼児、子供迄楽しめるショッピングモールと中主の町づくりは道路整備と共に良く考えられている。 ・ あとは余計な建物は要らない、高さ制限の綱を 1 日も早くかけて規制するべき時と思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新建の家が目につくが、こう言うものへの規制は難しい時代ではないか。防寒、避暑という点では新建築のほうが優れている。ただしその場合にも、隣家との間隔が開くような土地の利用、いわゆる建蔽率を規制することは可能なのか。また色調などの規制はどうか。
旧中山道 旧朝鮮人街道 祇王井川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回視察した範囲とは別に、新幹線下から国道 8 号までの景観を大切にしたい。家棟川隧道が撤去されたことは、返す返すも残念。別のショートカットを作るなりして、残せなかったのだろうか。 ・ 前回視察した範囲では、中山道・朝鮮人街道の分岐点に、もっとしっかりした標識が必要。 ・ 「朝鮮人街道」の名称については、一目でその意味が理解できる名称を使用すべきだと考える。全体的に歴史学者を交えて検討する必要がある。私個人としては「朝鮮通信使街道」を考えている。景観とは別の問題ではあるが。 ・ 歴史的な景観の建物と陸屋根などの建物が混在しているため、不揃いの景観である。 ・ 祇王井川の石垣などをもっと景観に活かした方がよい。 ・ なにせ野洲駅前周辺のマンション群が街道の風情を損ねているのが惜しい、が今更言っても元に戻らぬので上を見ずに済むようにユニークかつカラフルな街道マップ兼案内板を要所々に取り付けたりするのも一つの方法では。 ・ 古い町並みは、上記のコミセン周辺と同じであり、住民の理解がない新建築が増加する。野洲のシンボル三上山への眺望は、道路を幅広く取る。所々を小公園にして、そこからの眺望は確保するなどの方法しかないであろう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アサヒとの絡みなど、素人には分からないことが多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 沿いに立地した大規模マンションが景観のほとんどを占めており、眺望が望めない。 ・ 駅から三上山の眺望にビルが邪魔をしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アサヒビールの問題があるが、野洲市が買収する事は望ましいが、その利活用には野洲市の顔とこの面と景観のマッチについて、今後駅前街づくり計画には景観を考える委員のメンバー誰かも加る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アサヒビールの地所は是非市で確保するべきと思う、滋賀県民債の様に市債を発行してでもお願いします。確保出来たら滋賀銀横の地所を含め JR の駅舎に合わせた高さで和風に近いビルを建てて多目的ビルとして利用するのはどうでしょう、勿論観光案内所のスペースも作ってね。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ すでに高層建築が駅周辺は立ち並びつつあり、J R とコラボレーションで駅上に、三上山を眺める待合室などつくってもらいよりしかたないであろう
御池	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕方ないこととはいえ、イノシシよけのネットが異様。 ・ 30 年前の写真と較べ、サクラの木の弱りが目立つ。積極的に世代交代を図り、桜の名所としたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三上山と御池が組み合わせさり、望ましい風景となっている。 ・ 自然景観を身近に感じることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山間地には農業用水の為の池が大小あちこちにあったが、周辺の環境が変り未整備の状態の所は現状を保ちながら手入れをする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のままにしておいて欲しい、さわらないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて拝観する場所で、特別な感懐は無いのですが、市内を流れる川への水源地としては重要な場所なのではないでしょうか。観光地や人の集まる所としては格別なところではないように思ひます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的新しい道路ということもあって、交通量も少なく、田園の中の佳良な景観を保っている。J R 線オーバークロスが開通するとかかなり状況が変わるだろう（景観破壊が進むだろう）。 ・ 童子川と西河原の間は、電柱が立っていない貴重な空間であったが、最近童子川側と西河原側に新
野洲中主線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的新しい道路ということもあって、交通量も少なく、田園の中の佳良な景観を保っている。J R 線オーバークロスが開通するとかかなり状況が変わるだろう（景観破壊が進むだろう）。 ・ 童子川と西河原の間は、電柱が立っていない貴重な空間であったが、最近童子川側と西河原側に新

	<p>しい電柱が立てられた。まだ現段階では虫生～木部の間は立っていない。これ以上立ててほしくないと、祈る思いである。立てる側は田圃の中だからかまわないということだろうが、田圃の中だからこそ電柱が目立つ。錦織寺の北側田圃地帯は伽藍と三上山との景観保全の意味で立てないよう配慮がほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それと合わせて、野洲中主線（県道32号）と錦織寺を結ぶ里道に立つ10本の電柱を迂回させたりして撤去できないか。野洲に残る歴史的景観として大切にしたい。 • 大きなお寺や農村と三上山の風景であり、今後、異質な建物が入らないようにする必要がある。 • 田圃風景は保ちたい、いろいろの法令をスリヌケ、開発をしない様に。 • 野洲中主線通過時に観る比良山の風景は夏冬問わず素晴らしい。この沿線周辺は田圃とピワコ、山並とマッチしているのでぜひこのままの型で残したい。 • 広々とした眺望で、野洲平野にいるという思いを感じさせるところです。田圃風景として今のところは、問題ないのでしょうか、小学校の白々とするところはいただけない。遠くのビルについても同じことです。色彩を考えて建築するべきか。目立つという目的は、すててもらわねばならない。
家棟川河口	<ul style="list-style-type: none"> • 干拓地のため近隣に建物がなく、平坦な田圃と三上山が眺望できる。今後も建築物ができない方がよい。 • 琵琶湖につながる水郷という場所ですが、琵琶湖に出てどこかと交流すると、発展性があるのですが、閉鎖的単発的部分では観光化は難しいのではないのでしょうか。ただし、整備しておかないとすぐにごみが集まる場所になります。上流との交流はどのあたりまででしょう。
琵琶湖湖岸	<ul style="list-style-type: none"> • キャンプ場として管理の行き届いた松林と湖岸、人の手が入った風景として望ましい形である。 • あやめ、マイアミの砂浜はぜひに手を加えないこと、オートキャンプ場が整備されているが現状でよい。私達の子供の頃からみると余りにも自然が壊れていたので残念な気がした。 • 白浜青松地です。琵琶湖が一番広く感じられるところではありませんか。公園化をはかり眺望を楽しむ場所にすべきですが、それだけでは人は来ませんので、どうするか。誰でも好きなときに行ける場でありたいです。
内湖	<ul style="list-style-type: none"> • ゴミがたまりやすいヨシが繁茂しているが、ごみがない状況で維持されている。ごみを捨てさせない様に内湖環境の保全のアピールが重要である。 • 内湖を保つには周囲の人達の考えが大きく左右される。内湖だけではないが景観（自然）を保つには地域住民の意識がどうか問われる。 • 1年を通してもう少し水が欲しい、工夫が無いものか？ • 野洲川の旧河口が、ワンド化しているということですが、放り出されているからそうなっている、とするとあまり手を入れないほうが野鳥の飛来や湖魚の育成にはいいのですが、一方では、事故事件の生ずる場所になりかねません。どのような整備のあり方があるのか、家棟川河口とあわせて整備、交流があれば面白いかな。
兵主大社	<ul style="list-style-type: none"> • 大社が特徴のある風景となっている。 • 兵主大社だけでなく市内の神社仏閣は大切にしたい、景観の面だけでなく人づくりの面からも大切にしたい。 • 国指定の神社庭園なので手を入れるのは難しいと思うが、夢を言えば平安の昔のように琵琶湖から水を引き入れ船を浮かべて紅葉の下で月を愛でる...なんと言う風流でしょう。 • 神社というのは産土（うぶすな）と結びつくところがあり、逆にそういうものと関係の無い神社は観光客が集められるという点があります。鎮守の森として、樹木の育成保護は大切だと感じます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 守山市との境界付近（県道小島野洲線）沿いにあるパチンコ店がピンク色に塗られており望ましくない。 • 農業経営は大型化、集団化しているが田圃風景はこれ以上変わらないでほしい。 • 市内の特に大津能登川線よりピワコ向って中主、比留田、野田、安治、菖蒲周辺的美田を大切にしたい。 • 野洲市の街づくり、都市計画、地区計画にはしっかりとした目標で毅然とした対応をしてほしい、市民の目先の事だけでなく次世代にツケを残さない街づくりをする。 • 「景観を考える」というテーマはかなり難しい問題があると感じました。それは多分に委員になっているお方は、今の状況を残したいという熱意がこもった方ばかりですし、確かに景観は今、ないしは少し前の状況を目指しているように思います。 • 野洲でなければならぬもの、野洲にしかないもの、野洲を示すもの、それは何か、という市民の思いが高まるのが望まれます。家が立つ、マンションができる、会社が出来、工場が出来、

という経済的な発展、都会化をどこで景観と突き合わせるのか。調和させるか。考えながら動くのは市民の側でしょう。

- ・ 道路が出来て、水路が縮小、密閉、暗渠化している地域集落が多いです。それが先ず都会化を生み出しています。水というかつては生活上入手するのに苦労したものが、いまや水道になり、排水も下水化しています。そのために人々は苦労して、維持しなければならないものを持たなくなりました。共同で行うことも必要なくなりました。それらを元のように出来ませんが、川の復活と維持管理が地域の人々の結びつきを取り戻す手立てだと思います。保存とか、保存しつつ発展させようとする意欲の生ずる基です。